別紙標準様式（第７条関係）

会　議　録

会　議　の　名　称	令和４年度　第２回　枚方市健康増進計画審議会
開　催　日　時	令和５年３月30日（木） 午後１時30分～午後３時10分
開　催　場　所	枚方市役所（旧市民会館）第３分館　３階　第４会議室
出　席　者	会長：高鳥毛　敏雄委員、 副会長：神　光一郎委員、 上野　昌江委員、小川　俊夫委員、垣内　成泰委員、 北川　敏夫委員、上羽　敏明委員、中角　光秀委員、 吉山　美和委員、朝長　明日香委員
欠　席　者	御明　雅之委員
案　件　名	１.「第２次枚方市健康増進計画」及び「枚方市口腔保健計画」の最終評価に係るアンケート調査の集計結果について ２.「第２次枚方市健康増進計画」の最終評価及び最終評価報告書（案）について ３.「枚方市歯科口腔保健計画」 の最終評価及び最終評価報告書（案）について ４．その他
提出された資料等の名　称	次第 資料１　「第２次枚方市健康増進計画」及び「枚方市口腔保健計画」の最終評価に係るアンケート調査の集計結果について 資料２－１　第２次枚方市健康増進計画の最終評価一覧(案) 資料２－２　第２次枚方市健康増進計画の目標達成度別最終評価一覧(案) 資料２－３　第２次枚方市健康増進計画の最終評価報告書(素案) 資料３－１　枚方市歯科口腔保健計画の最終評価一覧 資料３－２　枚方市歯科口腔保健計画の目標達成度別最終評価一覧(案) 資料３－３　枚方市歯科口腔保健計画の最終評価報告書(素案) 資料４　今後のスケジュール等（案）

	参考資料１－１　生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート調査集計結果 参考資料１－２　小学生・中学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート集計結果 参考資料１－３　高校生の「歯と口の健康」「食」に関するアンケート集計結果 参考資料１－４　学校歯科保健アンケート（小学校・中学校・高校の養護教諭対象）集計結果 参考資料１－５　枚方市内の障害者(児)施設における歯と口腔の健康に関するアンケート集計結果 参考資料１－６　枚方市内の介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における歯と口腔の健康に関するアンケート集計結果 参考資料２　　第２次枚方市健康増進計画中間評価(概要版) 参考資料３　　枚方市歯科口腔保健計画中間評価(概要版) 参考資料４　　目標達成度と判定基準に関する考え方 別紙　「第２次枚方市健康増進計画」及び「枚方市歯科口腔保健計画」の最終評価に係るご意見・ご提案(回答様式)
決　定　事　項	１.「第２次枚方市健康増進計画」及び「枚方市口腔保健計画」の最終評価に係るアンケート調査のまとめ方について決定した。 ２.「第２次枚方市健康増進計画」及び「枚方市歯科口腔保健計画」の最終評価について、各指標の評価結果を決定した。ただし、暫定値をは除く。 ３．次回の審議会には最終評価報告書（案）を示すことを決定した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍　聴　者　の　数	０人
所　管　部　署 （　事　務　局　）	健康福祉部　健康寿命推進室　健康づくり・介護予防課

審　議　内　容	
高鳥毛会長	定刻となりましたので、これから令和４年度第２回枚方市健康増進計画審議会を始めさせていただきます。皆さま、年度末で大変お忙しい中でありますが、本審議会に御出席賜りありがとうございます。 それでは、まず案件に入る前に事務局から委員の出席状況および傍聴希望者についての報告をお願いいたします。
事務局	本日の委員の出席状況ですが、委員 11 名中 10 名の出席で過半数に達していることから、枚方市附属機関条例第５条第２項に基づき、本会議は成立していることを御報告いたします。なお、御明委員につきましては、事前に欠席の連絡をいただいております。 次に、傍聴希望者ですが、本日の傍聴希望者はございません。なお、事務局側に本計画策定支援業務受託者が同席していますことを報告いたします。以上です。
高鳥毛会長	事務局より、委員の出席状況、及び傍聴の希望者はございませんが、本計画策定支援業務受託者が同席されているということで、よろしくお願いいたします。 それでは、議事の次第に沿って進めさせていただきます。 まず、案件１「第２次枚方市健康増進計画」及び「枚方市歯科口腔保健計画」の最終評価に係るアンケート調査の集計結果について、事務局より報告をお願いいたします。
事務局	説明に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。まず、お手元に本日の次第、続いて資料１、資料２－１から２－３、資料３－１から３－３、資料４、参考資料１－１から１－６、参考資料２、参考資料３、参考資料４、最後に別紙となっております。 また、本日の資料ですが、資料１につきましては事前に送らせていただいたものから加筆修正している箇所がありますので、本日修正した資料をお配りしております。 資料の過不足等ございませんでしょうか。 それでは、「第２次枚方市健康増進計画」及び「枚方市歯科口腔保健計画」の最終評価に係るアンケート調査の集計結果について御説明いたします。 始めに、参考資料の１－１から１－６につきましては、アンケート結果の詳細資料となります。ただし、参考資料１－１から１－３につきましては、アンケートの回答率向上を図るため、アンケートの回答期日を延長し、ハガキで再勧奨等を行ったため、本日は単純集計のみの資料となっております。次回には参考資料１－４から１－６の資料のように、グラフ

	やコメントを記入したものを作成し、お示しさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。 それでは、資料１を御覧ください。第１回目の審議会の際には、アンケートの内容について御意見をいただきましたが、本日は資料１にお示しのとおり、各種アンケートを実施しましたので、その集計の概要を記載しております。 まずは、「１：生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート調査」は、16 歳以上の無作為抽出した 3,500 人の市民を対象者とし、アンケートを郵送、返信用封筒で返信またはインターネットで回答を得ました。アンケートの回答率を上げるため、広報ひらかたへの掲載や枚方市公式の LINE 等で周知を図りましたが回答率が低かったため、対象者 3,500 人に対して再勧奨のハガキの送付を行い、回答率の向上に努めてまいりました。結果として、有効回答数は 1,169 人で回答率 33.4%でした。 続いて、「２：小中学生の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート」は、８校の小学６年生と４校の中学２年生を対象に実施しました。児童・生徒からは、インターネットで回答を得ました。有効回答数は小学生 572 人で、回収率は 77.1%。中学生は 288 人（暫定）と記載しておりますが、現在は 501 人のデータを収集することができ、集計作業の途中ですが、現時点での回収率は 61.4%となっております。 次に、「３：高校生の「歯と口の健康」・「食」に関するアンケート」は、対象者を市内公立・私立の高等学校のうち、協力を得られた学校の生徒で 10 校の１～３年生に協力をいただきました。生徒からは、インターネットで回答を得て、有効回答数は 890 人ですが、回収率につきましては学校側の協力いただける範囲で学生に任意でアンケートの回答依頼をしていただいたため、対象者人数が正確に把握できないことから、回収率は記載しておりません。 次に、「４：学校歯科保健アンケート」に関するアンケートは、市内の小中高校を対象に実施し、回答はインターネット、メール、FAX でいただきました。有効回答数は小学校で 43 校、97.7%。中学校で 18 校、94.7%。高校で９校、90%でした。 次に、「５：障害者（児）施設における歯と口腔の健康に関するアンケート」は、市内障害者（児）施設 192 施設を対象に実施し、回答はインターネット、メール、FAX でいただきました。有効回答数は 121 施設で、回収率 63%でした。 最後に、「６：介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における歯と口腔の健康に関するアンケート」は、市内介護老人福祉施設 17 施設及び介

	護老人保健施設９施設の合計 26 施設を対象に実施し、回答は郵便での返送にて御協力をいただきました。有効回答数は 20 施設で、回収率は 76.9％でした。 　参考資料１－１から１－６の各アンケートの詳細につきましては、本日は時間の都合上、個々に説明をするのは割愛させていただきます。 　なお、今回御報告いたしましたアンケート以外に、市内企業対象および市内企業の従業員を対象としたアンケートを実施しておりますが、現在集計中ですので、次回の審議会にてお示しする予定となっております。 　以上が、実施したアンケートの集計概要になります。事務局からは以上となります。
高鳥毛会長	ありがとうございました。ただいま、枚方市健康増進計画等を策定するにあたって必要な、市民に対するアンケートの実施状況等について報告をしていただきました。市民アンケート調査の集計の詳しい内容については、まだ整理中ということですが、説明していただきました各アンケートの実施状況について、事前に皆さまには、アンケートの集計表、参考資料に目を通していただいたと思いますが、御意見があればお願いします。いかがでしょうか。
吉山委員	集計ありがとうございます。１つ、アンケートを見させていただいて気になったところがございまして、質問というか意見を述べさせていただきたいと思います。参考資料の１－１、問 30、15 ページになります。問 30、15 ページのところの「何を使って口腔清掃をしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください」という質問に対して、「歯磨き剤(を使用しているの)は 485 人」ということで、45％ぐらいしか歯磨き剤を使っておられないのかなと最初に拝見したときに思ったんですね。 　でも、問 32 のように、個別に「歯を磨くときに歯磨き剤を使っていますか」と聞かれると、歯磨き剤を使っておられる方は合計 1,084 人にもなるので、設問自体がこれで良いのかと疑問に思いました。次回このような設問をされるときに、そこを考えていただければと思いました。以上です。
高鳥毛会長	吉山委員から、項目によって似たようなことに対しての回答の状況が異なるとご意見がありました。これはこのアンケート結果のまとめに当たって配慮が必要ということでしょうか、それとも次回調査するときに検討が必要ということでしょうか。
吉山委員	この結果を踏まえて、こういう勘違いといいますか、捉え方をされる方がおられるのであれば、今後の設問の際に検討していただければと思

	います。
高鳥毛会長	ありがとうございます。まとめに当たっても、どう解釈するかという配慮が必要という点があるかと思います。 その他、この資料で気付かれた点、何か御意見、コメントがあればお願いいたします。よろしいでしょうか。 特にない様ですので、引き続きこのアンケートの結果を踏まえて４月以降計画の策定をしていくことになりますので、またその折にでも御意見いただければと思います。 それでは、次の案件に移らせていただきます。よろしいでしょうか。 案件２「「第２次枚方市健康増進計画」 の最終評価及び最終評価報告書（素案）について」ということで、アンケートと少し外れますが、これまで第２次の枚方市健康増進計画というのを進めてきて、それについての評価の報告書を取りまとめているということです。その素案について説明をしていただきたいと思います。 それでは、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	案件２について説明をさせていただきます。具体的な説明に入る前に、最終評価の判定方法について説明させていただきます。 参考資料４「目標達成度と判定基準に関する考え方」を御覧ください。達成状況の達成度につきましては、中間評価時と同様の評価基準にて評価を行っております。「計画策定時値」「現状値」「目標値」を比較することで達成率を算出し、表にお示しのとおり、Ａ「達成・概ね達成」、Ｂ+「改善」、Ｂ−「やや改善」、Ｃ「変化なし」、Ｄ「悪化」の５段階で目標達成度を評価しております。 判定基準、および達成率の考え方につきましては、資料に記載しておりますので、御確認いただくよう、よろしくお願いします。 それでは、最終評価についての御説明をしますので、資料２−１「第２次枚方市健康増進計画の最終評価一覧（案)」を御覧ください。お示ししました一覧表につきましては、左から順に計画策定時に設定した「目標項目」「策定時値」「中間評価値」「現状値」「目標値」「達成状況」をまとめた表となっております。 現状値の欄には、今回実施しましたアンケートの集計結果や各種事業等の取組実績を記載し、一番右の達成状況の欄には、各目標項目における達成状況の判定を記載しております。 なお、達成状況に暫定と記載しているものにつきましては、現状値には令和３年度のデータを記載しているものです。次回の審議会には令和４年度の最新のデータに変更する予定の項目であり、暫定と記載しているもの

	となります。 　続いて、資料２－２を御覧ください。各目標項目の最終評価結果を達成状況別にまとめたものとなります。今回の最終評価における達成状況ですが、Ａの「達成・概ね達成」が６項目、Ｂ+の「改善」が２項目、Ｂ－の「やや改善」が 17 項目となっており、ＡおよびＢ判定を合わせた、達成および改善している項目は、全 38 項目のうち 25 項目、65.8％となりました。また、３項目 7.9％が「変化なし」、10 項目 26.3％が「悪化」したと結果となりました。 　次に、資料２－３を御覧ください。これは、最終評価報告書の素案となります。ページをめくり、目次を御覧ください。 　最終評価報告書の構成としましては、第１章から第３章までとしています。 　１ページを御覧ください。第１章では「第２次枚方市健康増進計画の概要」とし、１．基本理念、２ページから３ページにかけて「２．取り組むべき基本方向」、４ページに「３．計画期間」、５ページから８ページまでは、「中間評価の概要」として中間評価時における達成状況を記載しております。また、８ページの下段から９ページには、「５．計画期間内に再設定した目標項目」について記載をしております。 　続いて 10 ページを御覧ください。第２章では、今回実施しました「最終評価について」を記載する予定としております。12 ページから「最終評価のまとめ」を記載する予定とし、12 ページから 14 ページにかけて目標達成状況別の一覧、15 ページから 16 ページにはライフステージ別にまとめた一覧を載せております。17 ページから 37 ページにかけましては、「目標達成状況の詳細」についてそれぞれ指標ごとに「策定時値」「中間評価値」「現状値」「目標値」「達成状況」を表およびグラフでお示ししております。 　なお、次回の審議会には目標項目ごとのデータ等の状況について、コメントを追記する予定としております。 　本日は、時間の関係上すべての説明は割愛しますが、主なものにつきまして御説明をさせていただきます。 　17 ページを御覧ください。早世予防の観点からの指標として設定しています項目番号１、「75 歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少」につきましては、策定時の値より 6.5 ポイント低下しており、最終評価の達成状況は暫定でＡ判定となり、目標を達成している状況となりました。 　また、項目番号２から６には、各種がん検診の受診率向上に関するデータを記載しておりますが、すべてのがん検診について策定時に比べ、

	受診率が上昇しております。項目番号２の肺がん検診及び項目番号６の大腸がん検診につきましては、目標値をそれぞれ達成しており、達成状況はＡ判定となっております。 　続きまして、24 ページを御覧ください。ライフステージ別における状況としまして、乳幼児期における状況ですが、24 ページ及び 25 ページにお示ししているとおり、いずれの項目においても策定時のデータより改善し、達成状況はＡ及びＢ判定となっており、乳幼児期における生活習慣や食、歯科口腔に関する取組は一定進めることができたことが伺えます。 　次に、学齢期における目標達成状況につきましては 26 ページから 28 ページの上段部分にお示しをしております。項目番号 18、「朝食を欠食している小中学生・高校生の割合の減少」につきましては、この間、大きな変化は見られませんでしたが、小学生は現状値が 6.2%となり、策定時より 0.6 ポイント増加。項目番号 19 番、「たばこの害について「わからない」」ものの減少についても 2.8 ポイントの増加となり、達成状況はＤ判定となりました。 　その他の項目につきましては、概ね改善傾向を示しており、達成状況はＢ−となっております。なお、項目番号 19「たばこの害についてわからない」割合の減少、および項目番号 20「アルコールの害についてわからない」割合の減少につきましては、学校におけるそれぞれの啓発の授業の実施時期とアンケートを実施時期の関係において、結果に大きく影響することから、今後の指標の設定等、取扱いについては検討が必要であると思われます。 　次に、青年期における目標達成状況については、28 ページの下段部分から 31 ページにお示ししております。なお、学齢期と青年期における栄養・食生活に関する項目である項目番号 15、18、22、23 につきましては、本審議会のスケジュールと並行して行われております「枚方市食育推進計画審議会」にて共有を図っており、当該審議会において調査審議していただく予定となっております。 　次に壮年期における目標達成状況につきましては、32 ページから 33 ページにお示ししておりますが、性別により判定が分かれる結果となりました。 　項目番号 26「適正体重を維持している者の増加」は、中間評価値においてＤ判定となっている項目であり、本項目は最終年度に向けた優先課題として掲げているものでもあります。男性の肥満者の割合は、最終評価値には 27.0%で中間評価値よりも 1.1 ポイント改善していましたが、策定時に

	比べ、1.4ポイントの増加となり、達成状況はＡとなりました。 　しかし、女性の肥満者の割合は最終評価値では11.6％で、中間評価値より６ポイントの改善が見られ、達成状況はＢ−の判定のやや改善となっております。 　また、一方で項目番号28「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少」については、女性に関しては中間評価値においては5.8％で改善傾向を示しておりましたが、最終評価値においては7.7％となり、達成状況はＤ判定となっています。 　最後に、高齢期における目標達成状況につきましては、34ページから37ページにお示ししております。 　項目番号30「運動習慣者の割合の増加」および項目番号31「日常生活において、意識して身体活動・運動を行っている者の割合の増加」につきましては、それぞれ中間評価値より若干低下しておりますが、策定値よりも改善しており、達成状況はＢ−となっております。 　また、項目番号34「80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加」につきましては、現状値が58.3％となり、達成状況はＡ判定、達成となりました。 　高齢期に対しましては、一定の取組を進めることができたことが伺えます。 　続きまして、38ページを御覧ください。第３章として、「最終評価からみえてきた課題と今後の取組の方向性」について記載する予定としております。 　指標以外のアンケートデータをはじめ、庁内関連部署や関連機関の取組および国、府から得られる関連データを活用していきたいと考えており、内容については（１）から（３）にお示しのとおり、国の動向や新型コロナウイルス感染症の流行を含む社会環境の変化などについて記載するとともに、現計画における４つの基本方針ごとの最終評価の総括及び、今後取り組むべき方向性を記載し、次期計画の内容に反映させていきたいと考えております。 　詳細につきましては、次回の審議会にてお示しする予定です。 　以上が案件２の説明となります。
高鳥毛会長	案件２について、説明をしていただきました。確認ですが、「第２次枚方市健康増進計画の最終評価および最終評価報告書」に記載している数値というのは、この度のアンケート調査の結果も記載されているという理解でいいですね。それ以外に、いろいろな関係資料の数字を含めて記載しながら評価しているということでよろしいですか。

	第２次計画の評価という作業を事務局でしていただき、現段階でまとめた内容について説明をしていただきました。この「最終評価および最終評価の報告書の素案」について、委員の皆さまから何か御意見、御質問があればお願いいたします。 上野委員、どうぞ。
上野委員	大変な資料をまとめていただきありがとうございます。今、会長もおっしゃったんですが、このアンケートといろいろなデータを合わせて、この達成状況をまとめられたと思うんですけども、例えば「肥満」とかは、このアンケートの回収率が３割なので、全体が反映されているとは思えないところもあるかなと思うんですね。そこで、例えば特定健診などで、この「体重がどうなっているか」という判定をされたのか、何か他の調査というのが、今、私がパッと思い浮かぶのが特定健診ぐらいしかないのですが、その辺も踏まえたこの達成状況になっているかどうかというのを、教えていただけたらと思います。
高鳥毛会長	上野委員から、「16 歳以上の市民に対するアンケートの回収率が高くないので他に並行して、特に体重とかデータがあるんだったら、整合性を見て評価する必要があるではないか」という御指摘だったと思います。その点、事務局いかがでしょうか。
事務局	ありがとうございます。ただいま御質問の「肥満に関するデータ」につきましては、アンケートのみの結果となっております。 ただし、項目番号９「メタボリックシンドロームの該当者の割合」につきましては特定健診の結果を反映しているものとなっております。そういった「健診の結果」も踏まえまして、判定は変わらないですが、最終評価の総括的にはその辺も加味していきたいと思っております。
高鳥毛会長	よろしいでしょうか。
上野委員	はい。
高鳥毛会長	評価というところで、評価方法を変えると比べることができないので、最初のやり方が「市民アンケートの数字」であれば、それを参考というのはやむを得ないことかと思いますが、この第２次計画のスタート時点の市民アンケートの回収率も大体３割台だったのでしょうか。
事務局	計画策定当時の市民アンケートの回収率は、49.7%となっております。なお、中間評価値におきましては 34.8%ということになりまして、最終評価に近い数字になっております。
高鳥毛会長	だんだん下がってきているのは余り良くないと思います。 その他、事務局で進めています最終評価のまとめについて、委員の皆

	さまから何か御意見・御質問があればお願い致します。 　小川委員、どうぞ。
小川委員	詳細の説明、ありがとうございます。 　２点ありまして、まず１点目がこの目標達成率の出し方にちょっと違和感があり、「達成率 90%以上」と規定をされていたのですが、これが他の市町村でも同じようになさっているのであればそれに従っていいと思うのですが、どういう基準で決められたのか分からないのが一点です。 　それから２点目ですが、この達成率・達成度というのは計画作成時との比較をなさっていると思うのですが、当然年齢構成が変わってるのではないかと思っておりまして、単純に数字を比較なさっているとしたら、年齢構成が大して変わらないのであれば問題ないと思います。高齢化が進んでいて高齢者が増えているとなると、同じ割合で比較するのっていうのは、比較が 10 年ぐらい前になってしまいますよね。ですから、ちょっと問題があるかなと思って拝見しておりました。 　それから、先ほども御質問があったのでいいと思うのですが、このアンケート結果と、様々な特定健診やがん検診の結果とかを使ってらっしゃると思うのですが、例えばがん検診では。両方のデータが出ていますよね。「市がなさっているがん検診」では圧倒的に受診率が低いんですね。でも、アンケート結果だとＡ・Ｂ評価で、これは当然とはいえ当然で、アンケートに答えている人は健康意識が高い方なので、高くなるのは当然だと思います。この評価でいいのかというのがちょっと正直分からなくて、特定健診やがん検診等の両方のデータがあった場合に、どっちを取るかというのを誰がどうやって決めるのかを教えていただければと思います。
高鳥毛会長	小川委員の貴重な御意見、ありがとうございます。 　１点目は、この指標の決め方が「枚方市独自なのか、一般的にこういう形なのか」という点ですね。 　２点目は、今回の最終評価でアンケートの結果を使っているけど、対象者の年齢構成が違うと回答が違うという、そういうバイアスの影響というのはあるのか、どう考えているのかという点ですね。 　３点目は特にがん検診についてアンケートの結果と実際、他調査したのとでは違いがあるのだけど、という内容だったかと思いますが、事務局のほうで答えられる範囲でお願いいたします。
事務局	まず１点目の目標達成状況の決め方につきましては、大阪府の歯科口腔保健計画の判定方法を参考にさせていただいております。こちらにつきましては、同じくＡ判定、Ｂ+判定、Ｂ−判定、Ｃ判定、Ｄ判定となっ

	ております。 　なお、大阪府の健康増進計画におきましては、ＡＢＣＤ判定となっておりまして、Ｂの判定のところが歯科についてはプラスマイナスが付いていて、より詳細になっております。この件につきましては、中間評価をする際に「分け方が大きいと、枚方市のデータを入れたときに偏りがでるのではないか」という御意見を審議委員の方からいただきましたので、より細分化されている大阪府の歯科口腔保健計画の判定を利用させていただくことになった経緯がございます。
高鳥毛会長	あと２つ目の年齢構成についてはどうでしょうか。
事務局	２つ目ですけれども、「年齢構成が前の調査のときから変わっているのではないか」ということでございますけれども、調査自体も高齢者の方の回収率が高うございますので、どうしても高齢者の結果に引っ張られるというようなことになります。今回のこの指標の評価に当たりましては、「年齢調整」という手法を用いまして、その指標の結果を念のため比較させていただいております。 　年齢調整につきましては、「全国の年齢構成」「枚方市の年齢構成」、この両方で指標の調整を行っております。 　例えば、この資料の２−１、こちらに「今回の最終評価一覧」というのがございますけれども、この中で今回の調査では、調査結果を用いて評価しているものがいくつかございます。 　上から申し上げますと、２から６までとか、それから 13 と 14、それから 24 から 30 までです。この辺りの数値が今回の調査の結果を基に評価さしていただいたものございますけれども、これらにつきましてはすべて年齢調整をさせていただいております。今回のデータ、お配りしたデータの中には入っておりませんけれども、こちらの手持ちとして結果の比較をさせていただいての結果となりますが、それほど大きく変わらないというのが結論となり、この達成状況を変えるほどの違いはなかったということになっております。 　例えば一番上の、肺がん検診受診率向上のところで、現状値が 43.7%ってなっておりますけれども、全国の人口で年齢調整しますと 44.5%。枚方市の人口構成で調整しますと 43.9%いうようなことでございまして、それほど大きな違いはなかったということです。他も大体同じような状況でございます。 　それから、あと３つ目の「市のがん検診の受診率を使うか、あるいは市民調査の結果を使うか」の点でございますけれども、こちらにつきましては国の「健康日本 21」におきましても、住民調査の結果を使って評

	価するということになっておりますので、枚方市におきましてもそちらのデータを使うということでございます。 　ご承知のとおり、市のがん検診以外にも人間ドック等他の検診にがん検診が含まれていることもございますので、そちらのほうも把握しないといけないということで、この市民調査のほうの結果を用いているということになっていると理解しています。以上です。
高鳥毛会長	ありがとうございました。小川委員、よろしいでしょうか。
小川委員	はい、結構です。
高鳥毛会長	この市民アンケートは、一応市民の年齢層で層化して対象者を決めて抽出してやっているのと、ただいま事務局の説明では若干開始している年齢構成でずれている分の年齢調整をして数値を出していると。そういう説明でしたが、それでよろしいでしょうか。 　その他、委員の皆さまから何かコメントがありますでしょうか。 　垣内委員お願いします。
垣内委員	ここにはなかったのですが、がん検診で「前立腺がん検診」やっておられますよね。でも、ここにはデータがない。確か、国が推奨していないから、枚方市のサービス検診としてやってくれていると聞いていたのですが、もう、やり出してかなりの年数が経つので、ここにデータとして取り上げていただいても結構じゃないかと思います。毎年だいたい100 人近く、確か前立腺がん検診だけでがんが見つかっていますので、これはかなり大きな問題だと思います。 　それともう１つ、ちょっと先走っているかも分からないですが、このデータの発表の仕方です。これだけまとめたものをどこでどう発表するのかと思っています。それと、しっかりした冊子になるのであれば、どこへ配付するのか。前のときも、思っていたのですが、ほとんど見かけないですね。住民の健康相談とかに行っても、「こんな話聞いたことあるか」と聞くのですけども、「知らん」と言われるんですよね。その時に、実はこういう良い結果が出ていると言っているんです。こんないい物を作って、市長に答申にしているのに、市民がほとんど知らないような気がします。この喫煙率の 8.9%とかなり下がっているようなことは、市民を褒めたらいいんですよ。そういうことを、もうちょっと広く宣伝してはどうかと思います。 　それとこの内容に関して、広報ひらかたには、掲載していただいているのでしょうか。主なとこだけでも。アンケートを取っているので、広報ひらかたにこのサマリーぐらい載せるとか、詳細はホームページで見るように周知するといいんですよ。広報ひらかたはかなり広がっていま

	すからね。この努力をもっと市民に還元してあげたいと思います。
高鳥毛会長	垣内委員、ありがとうございました。 １点目は、国が作っている「健康日本21」に沿って、枚方市健康増進計画を作っているんだけれど、市独自でやっている「前立腺がん検診」を挙げましたが、そういうものも入れていくべきじゃないかということですね。 ２点目の広報での公表とかについては、第２次計画の評価の後、それを市民にどう還元するか、また第３次計画を作ったときに、それを市民にどう周知するのかと両方に重なる点があって、とても大事な点だと思います。単に、市民にいろんなことを要求するよりも、垣内委員が指摘されたように「喫煙率が10%以下に低下しているというのは、昔からすると想像できないことなので、褒めてあげればいいじゃないか」というのは貴重な御意見でしたが、いかがでしょうか。
事務局	ありがとうございます。「前立腺がん検診」につきましては、垣内委員がおっしゃったように、枚方市が独自といいますか、国が推奨している５がん以外に枚方市は前立腺がんを大分前から実施させていただいております。ただ、今回のこの計画に関しましては、「２次計画の策定時の評価をどうするか」ということになりますので、その関係上ここには載ってないということになります。 今後この取扱いについてどうしていくかというのは、また３次計画のときにしっかりと議論していくべきものなのかなと思っております。ただし、国の方向性としましては５がんを強く推奨しているということがございますので、その辺の兼ね合いもしっかりと議論していきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 あと、広報に関しましては、中間評価時にも垣内委員から同じような御意見いただきまして、そのとき記憶に残っているのが校区コミュニティ協議会の会長から、「コミュニティでもしっかりと啓発していきたい」という心強いお言葉いただいたかと思っております。行政の立場としましても、あらゆるところで啓発していかないといけないと認識していますので、この計画自体はホームページ等々で載せていく、若しくは冊子を使って周知啓発を行ってまいります。私たちとしましては、この中のエッセンスを使い、しっかりと健康教育等で発信していかないといけないと思っています。現時点でもさせていただいているんですけども、より強固にそういうものを発進していくということもありますし、ＳＮＳ等の発信力も枚方市は力を入れておりますので、「なかなか冊子は見にくいけどもデータなら見やすい」ということもあるかと思いますので、機

	会を見つけながら、しっかりと啓発していきたいと思います。 　せっかく長時間掛けて審議していただいているものになりますので、しっかりと啓発に努めてまいりたいと思いますので、また啓発の仕方等につきましても、御意見いただきましたら、それも反映しながら進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
高鳥毛会長	垣内委員、よろしいでしょうか。広報については重要な課題なので、また年度を明けての増進計画の議論の中で、皆さんから御意見出していただけたらと思います。 　他、よろしいでしょうか。
神委員	非常に貴重な資料、データをありがとうございました。ちょっと違った見方をしてるのかもしれませんけれど、先ほどの「５がんの検診の受診率」というのに２つのデータ出て、結果が大きく違うというところのお話です。私が考えますのは、「アンケートは去年の 12 月から今年の２月にかけて取られている」ということでよろしいですかね。 　例えば、５がん検診の「市の検診の受診率データ」は、令和３年度に取られているデータでよろしいですかね。といいますと、真っ先に頭に浮かぶのは、「新型コロナウイルスの感染症の影響」がかなり出ているのではないかなと思っています。実際にこれ拝見をしたときに、「アンケート結果は異常に高いな」と思いました。これは良いことだと思うのですが、逆に資料にある「実質の受診率」、やはりコロナの前の、人間ドックを含めた検診の受診率はかなり低くなっていて、「早期で見つけられるべきがんが見落とされて重症化する」というケースが大きな社会問題になったかと思ういます。 　ですので、ほんとにこの時期って「コロナ憎し」ですけれど、１年調査の年度が異なるとかなりその影響があるのではないかと思います。このデータを分析して、報告書にまとめられるときには、そこも検討いただけると、逆に「データの乖離」の説明になるのではないかなと、勝手に想像していたところです。 　以上です。
高鳥毛会長	神委員からコロナの影響を今回考慮する必要があるのではないかという点でしたが、いかがでしょうか。
事務局	ありがとうございます。個々のデータ、月ごとのデータというのをここにお示しできていないということもあるのですが、本市の検診に関しましては、月次データを確認しております。月次データを見ますと、今、神委員がおっしゃったように、令和元年の３月からガクッと受診率が落ちております。ちょうど「コロナが何物ぞ」というような情報が流れたときか

	ら、受診率が下がっております。一方で、少し回復傾向に向かったときには、やはりそれに応じて受診率が上がってきていますし、緊急事態宣言が発せられると、受診率が下がっているというのが見事にシンクロしていると感じております。その辺のデータに関しましてはどう出すかということもあるのですが、最後の３章のところに「新型コロナウイルス感染症の影響の背景」でもしっかりと伝えながら、この辺の分析の仕方や背景も加味して整理していきたいなと思っております。また御意見のほどよろしくお願いいたします。
高鳥毛会長	小川委員、どうぞ。
小川委員	参考までですが、がん検診・特定健診とも 2021・2022 年度には受診率がかなり戻ってきているという印象です。そのため、2020 年度はかなり受診率が下がったというのは、おっしゃったとおりですが、コロナの影響は恐らく 2021・2022 年ではなくて、逆にがん検診などは受診率が増えております。その点書き込んでいただくのはいいと思うのですが、「コロナだから受診率が低い」ということはないと思います。
高鳥毛会長	小川委員、コメントありがとうございました。 他、よろしいでしょうか。ないようでしたら、次、案件３がありますので、進めさせていただきたいと思います。 案件３「枚方市歯科口腔保健計画」の最終評価及び最終評価報告書（素案） について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局	それでは、案件３について説明をさせていただきます。本計画の最終評価の判定方法につきましては、先ほど健康増進計画の最終評価で御説明した同様の達成状況を活用しておりますので、目標達成度と判定基準に関する考え方は、参考資料４を併せて御確認ください。 それでは、資料３－１「枚方市歯科口腔保健計画の最終評価一覧(案)」を御覧ください。先ほどの健康増進計画でお示ししました表と同様に、現行計画の目標項目について、左から順に「計画策定時に設定した指標」「策定時の値」「中間評価値の値」「現状値」「目標値」を記載しており、現状値の欄には今回実施しましたアンケートの集計結果や各種事業等の取組実績を記載しておりますので御確認ください。 続いて、資料３－２を御覧ください。先ほど御覧いただいた資料３－１の一覧表を達成度別にまとめたものとなります。今回の最終評価における達成状況ですが、Ａの「達成・概ね達成」が 10 項目、Ｂ+の「改善」が５項目、Ｂ−の「やや改善」が９項目となっており、Ａ及びＢ判定を併せた達成及び改善している項目は 33 項目中 24 項目、72.8％となりました。また、５項目 15.2％が変化なし、４項目 12.1％が悪化した結果となりまし

	た。 　次に、資料３－３を御覧ください。最終評価報告書の素案になります。ページをめくり、目次を御覧ください。最終評価報告書の構成としましては、第１章から第３章までとしています。健康増進計画と同様に１ページからの第１章は、枚方市歯科口腔保健計画の概要とし、現計画の概要や中間評価の結果を６ページに掛けて記載する予定としております。 　続いて７ページを御覧ください。第２章では、「最終評価について」とし、最終評価の趣旨や方法、達成状況のまとめなどを記載する予定としております。13 ページから 29 ページにかけましては、こちらも健康増進計画で御説明したものと同様に目標達成状況の詳細について、指標ごとの達成状況について、それぞれ策定時値、中間評価値、現状値、目標値、達成状況を表およびグラフでお示ししております。 　なお、次回の審議会には、目標項目ごとのデータ等の状況についてコメントを追記する予定としております。本日は時間の関係上、すべての説明については割愛しますが、主なものについて説明させていただきます。 　まず、13 ページを御覧ください。「歯科口腔保健推進の方向性を踏まえた目標」の達成状況となりますが、項目番号１「「8020 運動」という言葉を知っている者の増加」、および目標番号２「「噛ミング 30」という言葉を知っている者の増加」につきましては、歯科口腔保健の取組について認知度を確認するものの１つとして設定している項目になりますが、それぞれ達成状況はＢ−およびＣ判定となっています。 　表中下段の括弧内に表示している数値につきましては、「よく知っている」と「聞いたことがある」と回答したものを含めた割合を示していますが、その数値を見ましても、まだまだ認知度については低い状況となりました。 　その他の項目につきましては、適切な歯科保健の受診行動を取る者は増加する結果となっており、達成状況は概ね改善傾向を認め、項目番号５−２「過去１年間に歯科健康診査を受診した者の増加」（一般）および、項目番号６−２「かかりつけ歯科医を有する者の増加」（一般）につきましては、それぞれ目標を達成し、Ａ判定となりました。 　18 ページを御覧ください。続きまして、ライフステージ別における状況としましては、乳幼児期における目標達成状況の項目番号７「３歳児でう蝕のない者の増加」については、策定時より 5.7 ポイントの増加 91%となり、目標値を上回り、達成状況はＡ判定となりました。しかし、一方で項目番号８「３歳児での不正咬合等が認められる者の減少」につきまして

	は、計画策定時より 2.8 ポイント、中間評価より 2.3 ポイント増加しており、達成状況はD判定となりました。 国の歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の最終評価においても、本項目は「悪化している」と判定されています。その要因については明らかにされておりませんが、３歳児は乳歯列であって顎顔面の発育途上であり、不正咬合と診断されても経過観察となり、実際の介入につながらないことから、国における最終評価におきましては、次期基本的事項には具体的な指標として設定しないことになっております。 次に学齢期における目標達成状況につきましては、19 ページから 21 ページにお示ししております。項目番号９「12 歳児でう蝕のない者の増加」につきましては、策定時より 8.2 ポイント低下の 51.2%となり、達成状況はD判定となりました。しかし、一方で項目番号 10「中学生・高校生における歯肉に所見を有する者の減少」については、中間評価値には既に目標値を下回っており、最終目標値には更に減少し、達成状況はＡ判定となりました。この間、学齢期における口腔内の清掃状況は改善しているものと考えられます。 また、項目番号 11「ＣＯ・ＧＯと診断された者に対して個別指導を実施している」学校の増加、および項目番号 12「学校歯科健康診査の結果について「わからない・覚えていない」者の減少」につきましては、学校における歯科健康診断の実施時期とアンケートの実施時期の関係において結果に大きく影響することから、今後の指標の設定等の取扱いについては検討が必要であると思われます。 次に、成人期における目標達成状況につきましては、22 ページから 24 ページにお示ししております。ほとんどの項目で、適切な歯科保健行動を取る者は増加する結果となっており、達成状況は概ね改善を認め、項目番号 16「40 歳で喪失歯のない者の増加」および項目番号 18「50 歳で歯間部清掃用具を使用する者の増加」はそれぞれ目標を達成し、達成状況はＡ判定となりました。壮年期における歯科受診行動や口腔内の清掃状況は改善していることが伺えます。 しかし、項目番号 14「40 歳代における進行した歯周炎を有する者の減少」については、策定時より高い値で横ばいに推移しており、現状値は策定時より 3.2 ポイント上昇して 58.0%、達成状況はD判定となり、成人期における歯周病の罹患状況に課題が残る結果となりました。高齢期における目標達成状況につきましては、25 ページから 27 ページにお示ししております。 項目番号 19「60 歳で未処理歯を有する者の減少」については、達成状

	況がＢ判定となり、項目番号 22「80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する者の増加」及び項目番号 24「60 歳で歯間部清掃用具を使用する者の割合の増加」については、それぞれ目標を達成しており、達成状況はＡ判定となり、歯科受診行動や口腔内の清掃状況が改善していることが伺えます。 しかし、一方で項目番号 20「60 歳代における進行した歯周炎を有する者の減少」の割合は策定時より高い値で横ばいに推移しており、成人期と同様に歯周病の罹患状況に課題が残る結果となりました。 続きまして、28 ページを御覧ください。配慮を要する者に対する状況ですが、28 ページから 29 ページにかけてお示ししております。 項目番号 25「妊産婦歯科健康診査受診率の増加」につきましては、策定時より増加傾向にあり、現状値は策定時より 7.0 ポイント上昇し、達成状況はＢ+判定となりました。 項目番号 26「障害者（児）入所施設での定期的な歯科健康診査の実施率の増加」につきましてはＣ判定の変化なしとなりましたが、項目番号 27「介護老人福祉施設・介護老人保健施設での定期的な歯科健康診査の実施率の増加」につきましては、策定時より 28.2 ポイント上昇し 60%となり、目標を達成し、達成状況はＡ判定となりました。 第３章として、最終評価から見えてきた課題と今後の取組の方向性について記載する予定としております。健康増進計画と同様に指標以外のアンケートデータを始め、庁内関連部署や関連機関の取組、および国、府から得られる関連データも活用していきたいと考えており、内容については（１）から（３）にお示しのとおり、国の動向や新型コロナウイルス感染症の感染状況を含む社会情勢の変化等について記載するとともに、現計画における４つの基本方針ごとの最終評価の総括、および今後取り組むべき方向性を記載し、次期計画の内容に反映させていきたいと考えております。詳細につきましては、次回の審議会において、お示しする予定となっております。 以上が、案件３の説明となります。
高鳥毛会長	ただいま、案件３「「枚方市歯科口腔保健計画」の最終評価及び最終評価報告書（素案）」 について説明をしていただきました。ただいまの報告について、御意見・御質問があればお願いいたします。いかがでしょうか。 それでは、北川委員お願いします。
北川委員	歯科医師会の北川です。貴重なデータを示していただきまして、ほんとに有り難いことだと思っています。また、歯科医師会で議論するにあたり、このデータを使わせていただきたいと思います。

	歯科で問題になるものとしては、先ほどおっしゃった項目番号８番の乳幼児健診時に不正咬合等が認められましても実際、小学校入学ぐらいまではほぼ経過観察という形を取っていますので、なかなか減少するということは難しいことだと思います。 実際に問題になっているのは、項目番号９番「12 歳児でう蝕のない者の増加」ですけれども、なかなか枚方市の学校で昼食後の口腔清掃が実施されてないような感じを受けておりますので、そのようなことがここに反映されてくるのかなと思います。 それから、検診についてですけれども、枚方市で妊産婦や歯周病検診等していただいておりますが、なかなか受診率が全国平均に到達してないような現状だと思います。これに関しては、先ほどもありましたように広報の仕方をもうちょっと工夫していく必要があるかなと感じております。 後期高齢者の歯科健診に関しましては、これは関係ないとは思いますが、「大阪府でワースト３ぐらい」の状況ですので、こちらも平均並みに上げるのは、どういう形を取れば平均値ぐらいに持っていけるのか、なかなか難しいとこですので、また皆さんのお知恵を借りたいと思います、以上です。ありがとうございます。
高鳥毛会長	北川委員より、実際の歯科の診療、現場の立場で具体的なコメントをしていただきました。これについて事務局のほうでいかがでしょうか。
事務局	貴重な御意見、ありがとうございます。 先生ご指摘のところは、以前から先生にも御相談させていただいており、いろいろ手を尽くしているところではありますけれども、なかなか受診率が向上していない状況です。今後またさらなる啓発に進めていきますので、御協力よろしくお願いいたします。 「12 歳児のう蝕に関して」ですけれども、枚方市のデータと学校保健統計とか公的な統計とではデータの採取方法が違いますので、一概には比較できないのですが、枚方市のデータではなかなか減少の傾向ではありません。「食」のアンケートで「コロナ禍で間食することが増えた」であるとか、「ジュースをよく飲む子」が 23%であるとか、「スナック菓子をよく食べている子」が 30%であるとか、食生活にも問題となるような項目も出ていますので、そこも含めてまた改めて取り組んでいきたいと思っております。 ありがとうございます。
高鳥毛会長	北川委員、よろしいでしょうか。
北川委員	ありがとうございました。

	先ほど垣内先生ともお話をしたのですが、医科の検診と歯科の検診ではあまりにも受診数の格差がありますので、何とかそのあたりよろしくお願いいたします。
垣内委員	歯周病検診の受診者数は数年前では5,600人ぐらいだと思います。肺がん検診が２万人、胃がん検診が8,000人ぐらいで比べると、そのぐらい差があるものです。多分、「歯医者に行ってるからいいか」と思っている人が圧倒的に多いのではないかと思います。 さらには、医科の検診と違って、歯は全部見ますよね。そのため、その辺が歯周病検診の増えない理由かなと思います。だから、この歯周病検診は、やる意味があるかないかどうなんでしょうか。歯が健康な人は、定期的に歯周病検診してくださいよっていうならば意味があると思いますが、歯が悪い人は、もう、一回歯周病検診をすればどうでもいいってなるのではないでしょうか。
北川委員	確かに、日常口腔ケアで来院される患者さんを見ていましたら、私は「歯周病検診、また後期高齢者歯科健診、受けなくてもいいよね」という御判断される方は多いと思います。だから実際に、そういう方は別として、それ以外の方の受診率はまだまだ低いと思いますので、必要性は当然あると思います。
事務局	歯周病検診の受診者ですが、確かに過去は500人ぐらいでしたけれども、現在は2,000人を超えるぐらいには増えてきております。 ただ、国が求めている歯周病検診は「40歳、50歳、60歳、70歳」という対象年齢になっているのですが、枚方市では「35歳から５歳刻みの70歳まで」としており、国の推奨より増やした年齢層で実施しているところであります。以上です。
高鳥毛会長	ありがとうございました。歯科、歯周病予防に関連してとても熱いコメントありがとうございます。 先ほどの垣内委員、北川委員の御指摘のように、現在歯周疾患がない人については、きちんと口腔ケアをすることによって予防できますから、この数値も上げられないわけではないと思いますので、次期計画のときには進展させるように計画策定できたらと思います。 この枚方市の歯科口腔保健計画のこの最終評価に関連したことについて、他委員の皆さんで御質問・御意見よろしいでしょうか。 では、神委員、どうぞ。
神委員	私びっくりしましたのは、28番「糖尿病と歯周病の関係について知っている者の割合の増加」というのが、私が井の中の蛙なのかもしれませんけれど、非常に高いなと思いました。この「糖尿病と歯周病の関係」

	は、どこまでの内容を聞かれていて、例えばその「関係があるということについて知っているかどうか」ということだと思うのですが、「歯周病の原因菌が全身に回った時の怖さ」というのが歯科ではトピックになっています。 　あとで小川先生や医科の先生にもお伺いしたいんですけれども、今医科の世界でも「手術期の術前術後の口腔内ケア」っていうのも当たり前のように行われるようになってきています。そういうことを大学の教員としては、どんどんアピールしたいと思っていますし、是非、枚方市のほうでもこういうことをアピールしていくと歯周病検診の受診率もちょっと上がってくるかなと思っています。データを見たらすごく高いので、知っているという人が 43%超えているというのは、検診の受診へ活用する手はないかなと、考えていたところであります。 　それからこれは北川先生にお伺いするべきかわかりませんが、国の骨太に「国民皆歯科健診」というのが入ったので、２年後を目途にどこが皆検診を実施するかというところの問題が出てくるかと思います。もしかしたら、市でやれということになるのかもしれません。市歯科医師会の力をお借りしてやるということになるのかもしれません。そうすると、より全身との関係を知ってもらうことで、「歯科の検診なんていらない」と言っている人に対し、「口の中をきれいにすると、全身の疾患の罹患率や重症化率も減るんだよ」というエビデンスを、もう少し枚方市のほうでもアピールをしていただくことで検診率を上げることもあり得るのかなと思っております。
高鳥毛会長	貴重なコメントありがとうございました。北川委員よろしいですか。
北川委員	今の神先生のお話の続きですけれども、最近、各中小病院、歯科を持っていない病院の全身麻酔科の処置・手術に当たっては事前にかかりつけ歯科医で健診・口腔ケアを受けていただけるという方向になってきており、病院もそう意識をたぶん持っていっていただいていますので、いい方向なのかなと思います。ありがとうございます。
高鳥毛会長	事務局は、特にコメントよろしいですか。あればお願いします。
事務局	「国民皆歯科検診」に関しては、まだ我々自治体のほうには全くお話しが下りてきておりません。「歯周病と糖尿病の関係」についても、今年度は厚労省で効果的な歯科の啓発や検診の受診率向上についての実証実験が行われておりまして、次年度以降も継続して行われていく予定になっております。その動向を踏まえて、今後検討していけたらなと思っております。以上です。

高鳥毛会長	ありがとうございました。歯科、口腔保健のことについては、健康増進計画への議論よりも活発で、それだけ口腔ケアが超高齢社会で非常に重要な課題であり注目されていると思います。 先ほど神委員が御指摘された 29 ページ、項目番号 26 番と 27 番のギャップを、「これギャップがあるのかどうか」という点になりますが、この項目 27 番を見ると、先ほど委員の皆さんが指摘されたように、やはり高齢者施設では口腔ケアとか、誤嚥性肺炎なり全身管理の上で歯科検診が必要であると認識されており、検診だけじゃなくて日頃の口腔ケアも相当「重要」として取り組んでいるというのが出ているのではないかと思います。この数値を見ますと、やはり糖尿病や高齢者のケアないしＱＯＬを考える上で歯科口腔保健というものについての役割、また期待が大きいと思います。 この案件３についてはこれで終了して、次にいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。 それでは最後になりますが、案件４「その他」について、事務局から何かあればお願いいたします。
事務局	それでは、案件４「その他」について説明させていただきます。ここでは、今後のスケジュールや事務連絡を含めて説明をさせていただきます。 資料４を御覧ください。「令和５年度第１回枚方市健康増進計画審議会」は６月に開催する予定で、その際には両計画の最終評価報告書案、及び次期計画の骨子案等について審議していただく予定としております。 その後、８月には第２回目となる審議会を、11 月には３回目となる審議会を開催する予定としております。また、12 月には市民の意見募集を行い、令和６年１月に第４回審議会を開催し、次期計画策定に向けて諸手続を進めていく予定としております。 最後に別紙を御覧ください。本日の審議を受け、追加で御意見等がある場合は、記載していただくことができるように用紙を用意しておりますので、よろしくお願いします。何か御意見等がございましたら、４月７日までに健康づくり・介護予防課まで御連絡をいただきますよう、よろしくお願いいたします。 なお、審議会後、いただきました御意見等につきましては、本審議会会長および副会長に相談の上、検討を進めてまいります。あらかじめ御了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。お忙しい中、大変恐縮ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

	案件４「その他」について事務局からは以上となります
高鳥毛会長	案件４「その他」今後のスケジュールと、審議会後に何か御意見があれば提出できる用紙について説明をしていただきました。この点について、皆さんの中で御質問ないですか。 なければ、本日の案件は以上なのですが、その他の委員からもひと言いただければと思います。 朝長委員、いかがですか。
朝長委員	「アンケートの回収率を向上させたい」と思っておられると思うのですが、私も仕事をしていて家に帰ってこういうものが届いていたとしても、恐らくしないだろうなと思ってしまっています。「どうやったら回答率が上がるかな」と考えていたのですが、会社で「みんなやってるよ」となるとやらなきゃいけない、誰か担当を決めていただくと強制的にやるのかなというのが１つのアイデアです。 また、子どもや学校の回答率がすごく高かったので、学校の親御さんにも回答いただくと、家族みんなで「アンケートやろうね」みたいな感じで、やる気になっていただけるのかなと思いました。また何か思い付きましたら別紙で送らせていただきます。ありがとうございます。
高鳥毛会長	朝長委員、ありがとうございました。引き続きまして、中角委員、いかがですか。
中角委員	本日は、ありがとうございました。先ほどの意見ございましたように、これが完成した暁には、より広く市民の皆さまにお伝えいただくと市民の認知度も上がってきますので、よろしくお願いしたいと思います。
高鳥毛会長	ありがとうございます。それでは薬剤師会の上羽委員、お願いいたします。
上羽委員	アンケートの回収率が 50%ぐらいから 30%ぐらいということで、その向上に向けて、10 年前には SNS とかでのアンケートはなかったと思うのですが、今回、私も LINE から通知が来たため回答しました。調査方法が増えたにもかかわらず回収率が「減っている」という現状がわかりました。ただアンケートに回答した人は皆、意識の高い方だと思うので、本当は全体で拾うともっと違う数字になる可能性が高いのではとも思います。 ただ 10 年前の調査から、他の委員の方々の御意見にもあったとおり、年齢構成が変わっているはずで、そうなると「年齢構成の高い方が恐らく若い方より健康意識が高いので、回収率が上がるべき母集団になっているであろうにもかかわらず下がっている」というのが現状となり、その辺の工夫をお願いできたらと思います。

	これは、先ほど他の委員の方々がおっしゃったように、広報の仕方の工夫が一層求められるかと思いますので、皆さん、よろしくお願いいたします。以上です。
高鳥毛会長	その他、全体を通して委員の皆さまから何か御意見ありましたらお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。 事務局のほうも、よろしいでしょうか。 特にないようなので、これにて令和４年度の第２回枚方市健康増進計画審議会を終了させていただきます。